

独断と偏見の 私の麻雀論

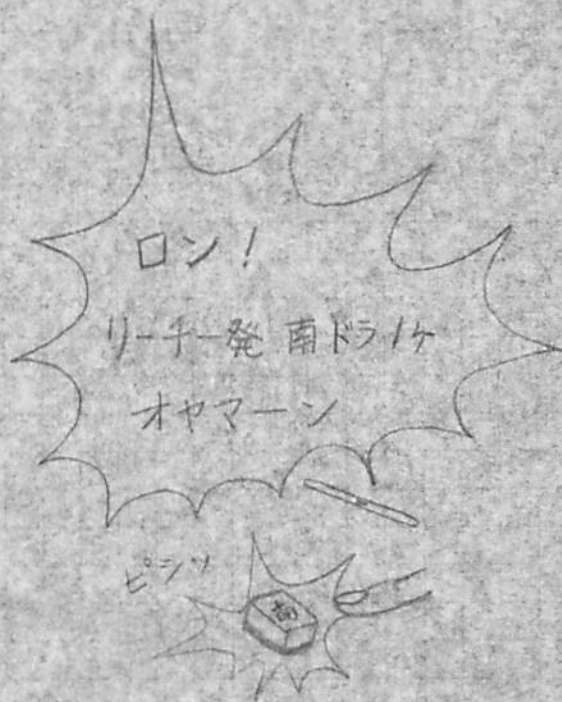
2年 化学科(特殊学級) 山口 晋二

いやあ、まいった。あそこで 圍 さえ打たなければ、まずトッ
プだったのに。完全に暴牌であった。暴牌をするようではまたま
た未熟だと肝に銘じて、また明日も頑張ろう!!

パチンコ、競馬、競輪と、ギャンブルにもいろいろあるが、や
はり何と言。でも麻雀が一番おもしろいことは言うまでもない。

毎回毎回異なる、限りない可能性を秘めた配牌を、野性の感と
技とで相手を牽制しながら育てていく。そこは、もはやギャンブ
ルなどという表現を遙かに超越した、夢とロマン、また逆にスリ
ルとサスペンスに満ちた男の世界である。

決して過言ではないので
すよ、そこで笑っている人。
そもそも麻雀というのは、
 $34種 \times 4 = 136$ 枚の牌
でやるゲームなのであるが
たとえば、親の配牌、ある
いは子の配牌+第一自摸牌
すなわち、 $34種$ 136 枚
の中から 14 枚を選び組み
合わせはどれくらいあるだ



どうか、そんなことを考えたことがありますか。多くの人は、そんなことは考えもせずに打っているでしょう。そこで私は今、麻雀のキャリアな人には負けないと自負している方に尋ねたい。あなたは、今までに一度でも以前と全く同じ配牌が来たことか、すなわち二度同じ配牌が来たことがあると思いますか。私は断言してもいい。ないと。なぜなら、34種136枚から14枚を選ぶ組み合わせはなんと2兆通り以上もあるのだから。それに比べ、たとえば、60年間毎日毎日10半荘やた人が居たとし、1半荘につき15回サイコロを振ったとしても、 $60 \times 365 \times 10 \times 15 = 3,285,000$ 回しか出来ないのである。念のため、2兆分の3百万は 1.5×10^6 である。

ここで、本当に2兆通りもあるのかと疑っている人のために、実際に計算してみよう。

考え方としては、順子などは全く考えずに、14枚の中に村子、刻子がいくつあるか、そして槓子はいくつあるか、で場合分けをして、それぞれの場合について計算する。たとえば下のような配牌なら、村子が1、刻子が1、そして槓子が1である。

1	1	11	●●	●●●	●●●●	●●●●●	●●●●●●	●●●●●●●	●●●●●●●●	六高	北	中	中	中
11	11	11	●	●●●●	●●●●●	●●●●●●	●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●●					

行	列	横	式	場合の数
0	0	0	$34! / 20! 14!$	1.39197×10^9
0	0	1	$34! / 23! 10!$	3.14707×10^5
0	0	2	$34! / 26! 6! 2!$	5.08373×10^8
0	0	3	$34! / 29! 3! 2!$	2782560
0	1	0	$34! / 22! 11!$	6.58024×10^9
0	1	1	$34! / 25! 7!$	3.77649×10^7
0	1	2	$34! / 28! 3! 2!$	80694239
0	2	0	$34! / 24! 8! 2!$	5.90076×10^9
0	2	1	$34! / 27! 4! 2!$	5.64859×10^8
0	2	2	$34! / 30! 2! 2!$	278256
0	3	0	$34! / 26! 5! 3!$	1.01674×10^9
0	3	1	$34! / 29! 3!$	5565120
0	4	0	$34! / 28! 4! 2!$	20173559
1	0	0	$34! / 21! 12!$	1.20637×10^{10}
1	0	1	$34! / 24! 8!$	1.18015×10^{10}
1	0	2	$34! / 27! 4! 2!$	5.64859×10^8
1	0	3	$34! / 30! 3!$	185504
1	1	0	$34! / 23! 9!$	3.14707×10^{10}
1	1	1	$34! / 26! 5!$	6.10048×10^9
1	1	2	$34! / 29! 2!$	16695359

行	列	種	式	場合の数
1	2	0	$34! / 25! 6! 2!$	1.32177×10^{10}
1	2	1	$34! / 28! 2! 2!$	2.42082×10^8
1	3	0	$34! / 27! 3! 3!$	7.53146×10^8
1	4	0	$34! / 24! 4!$	1391220
2	0	0	$34! / 22! 10!$	7.23827×10^{10}
2	0	1	$34! / 25! 6! 2!$	1.32177×10^{10}
2	0	2	$34! / 28! 2! 2! 2!$	1.21041×10^8
2	1	0	$34! / 24! 7! 2!$	4.72061×10^{10}
2	1	1	$34! / 27! 3! 2!$	2.25943×10^9
2	2	0	$34! / 26! 4! 2! 2!$	7.6256×10^8
2	2	1	$34! / 29! 2! 2!$	8347680
2	3	0	$34! / 28! 3! 2!$	80694239
3	0	0	$34! / 23! 8!$	2.83236×10^{11}
3	0	1	$34! / 26! 4! 3!$	5.08373×10^9
3	0	2	$34! / 29! 3! 2!$	21782560
3	1	0	$34! / 25! 5! 3!$	2.64354×10^{10}
3	1	1	$34! / 28! 3!$	1.61388×10^8
3	2	0	$34! / 27! 3! 2! 2!$	1.12971×10^9
4	0	0	$34! / 24! 6!$	6.60885×10^{11}
4	0	1	$34! / 27! 4! 2!$	5.64859×10^8

対 刻 横	式	場合の数
4 1 0	$34! / 26! 4! 3!$	5.08373×10^5
4 2 0	$34! / 28! 4! 2!$	20173559
5 0 0	$34! / 25! 4!$	7.93062×10^{11}
5 0 1	$34! / 28! 5!$	8069424
5 1 0	$34! / 27! 5!$	2.25943×10^8
6 0 0	$34! / 26! 2!$	3.66029×10^{11}
7 0 0	$34! / 27! 7!$	5379616
		+
		<u>$2,38406 \times 10^{12}$</u>

つまり、二兆三千八百四十億六千万通りもあるのである。

もう、麻雀のすばらしさ、他のいかなるゲームよりもおもしろいということがまわがりいただけおもしろい。

麻雀をたまにはやるがそんなに好きではないという人、それは本当に麻雀を知らない人である。麻雀をやらない人、麻雀が嫌いな人、それはがわいそうな人である。

麻雀は実にすばらしい。ま、こゝろにすばらしい。

いやあ、麻雀でほんっとにいいもんですね。

麻雀万歳!!

以上、この文章に対する抗議、質問、ヤジ、文句等は一切受けつけませんので御子承下せし。